

12月9日(土)

一般演題7 チャネル病2

9:10-10:00

座長：相庭 武司 (国立循環器病研究センター臨床検査部/心臓血管内科・不整脈科)

- OS31 胎児期に2:1房室伝導を認め、後に発症した発作性上室頻拍に対しカテーテルアブレーションを施行したLQT4の1例
後藤 浩子 (名古屋徳洲会総合病院小児循環器内科)
- OS32 左心臓交感神経節切除術が有効であった、カテコラミン誘発多形性心室頻拍の2症例
森 雅啓 (大阪母子医療センター小児循環器科)
- OS33 難治性VT・VFに対して胸腔鏡下交感神経節切除術を行った先天性QT延長症候群
工藤 恵道 (東京女子医科大学病院循環器小児・成人先天性心疾患科)
- OS34 成長期のQT延長症候群を診断するための心拍補正QT間隔基準値の検討
鈴木 博 (新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療センター)
- OS35 当院で管理しているQT延長症候群症例の特徴
小澤 淳一 (新潟大学小児科)

一般演題8 臨床不整脈(心電図)2

10:05-10:55

座長：竹内 大二 (東京女子医科大学病院循環器小児・成人先天性心疾患科)

- OS36 蘇生後の制吐剤投与が二次性QT延長症候群Torsades de Pointesに関与したファロー四徴術後の1例
鶴 雄斗 (聖隷浜松病院小児科)
- OS37 術後遠隔期に右室流出路起源に加え、右室心尖部下面起源の心室頻拍を認めたファロー四徴の1例
森 秀洋 (静岡県立こども病院循環器科)
- OS38 急性心筋炎との鑑別を要したベラパミル感受性心室頻拍の1例
土井 大人 (佐賀大学医学部小児科)
- OS39 頻拍の薬剤治療に難渋し、電気的除細動が頻拍発作停止に有効であった上室性頻拍の1例
江崎 大起 (大分県立病院小児科)
- OS40 心内膜アプローチで治療困難であったWPW症候群に対して開胸下アブレーションを行った11歳女児例
佐藤 大二郎 (静岡県立こども病院循環器科)

ミニシンポジウム 遺伝性不整脈；循環器内科の視点

11:05-11:45

座長：吉田 葉子 (大阪市立総合医療センター小児不整脈科)

- 1 胎児・新生児期に診断される徐脈症例の遺伝学的検査について
大野 聖子 (国立循環器病研究センターメディカルゲノムセンター)
- 2 小児から成人発症の遺伝性QT延長症候群のエビデンス：日本における多施設登録研究から
相庭 武司 (国立循環器病研究センター臨床検査部/心臓血管内科・不整脈科)

ランチョンセミナー 2 知っておきたいペーシング治療

12:00-13:00

座長：芳本 潤 (静岡県立こども病院不整脈内科)

- 1 小児患者に対するペースメーカ適応について
庄田 守男 (東京女子医科大学病院循環器内科)
- 2 先天性心疾患患者に対するペースメーカ治療を考える
竹内 大二 (東京女子医科大学病院循環器小児科)

共催：日本メドトロニック株式会社

一般演題9 カテーテルアブレーション2

13:10-14:10

座長：熊丸 隆司 (東京女子医科大学病院臨床工学部)

- OS41 バルサルバ洞と左房との接触部位に低電位領域の存在を証明でき、同部位を起源とした異所性心房頻拍の1例
尾崎 智康 (大阪医科大学薬科大学泌尿生殖・発達医学講座小児科学教室)
- OS42 麻酔・循環管理の工夫により頻拍中の通電に成功した、TCPC術後房室結節リエントリー性頻拍の6歳男児例
谷口 宏太 (KKR札幌医療センター小児科、北海道大学病院小児科)
- OS43 総肺静脈還流異常症術後急性期に心房性不整脈に対して行った高周波カテーテルアブレーション
村山 友梨 (国立循環器病研究センター小児循環器内科)
- OS44 多脾症、房室中隔欠損の二心室修復術後、Maze手術後の左房内リエントリー性頻拍に対してカテーテルアブレーションを行った1例
安心院 千裕 (静岡県立こども病院不整脈内科)
- OS45 Criss cross heart、フォンタン手術後の房室結節回帰性頻拍の1例 一何をターゲットにする？
青木 寿明 (大阪母子医療センター小児循環器科)
- OS46 ダブルスイッチ手術後の修正大血管転位症におけるbiatrial tachycardiaに対するアブレーション治療
長岡 孝太 (昭和大学病院小児循環器内科)

閉会挨拶

14:10-14:20

会長：豊原 啓子 (東京女子医科大学病院循環器小児・成人先天性心疾患科)